

<東側の工区の掘削が終わりました。>

SX302

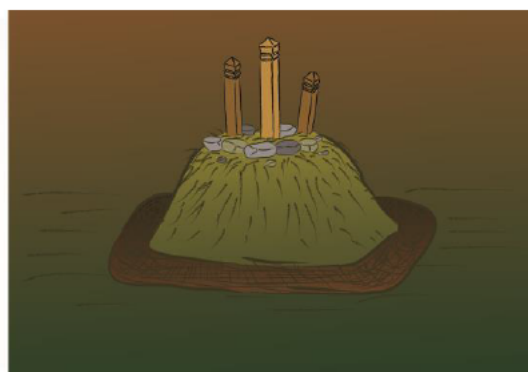


SX302 中央付近の穴



これは、「塚墓（つかぼ）」と呼ばれる墓と思われます。

塚墓は、中世に見られる墓のひとつで、全国で見つかっています。本来は土を盛った塚があり、その周りを四角く溝がまわっていて、塚の下の中央に埋葬する穴があるのが特徴です。当時は、塚の中央に石や木でできた塔婆



（とうば）が立っていたと考えられています。

四辻遺跡では、中央の穴の周りを石で囲ってありました。なお、遺物は出土しませんでした。

塚墓（想像図）

<問い合わせ先>

〒511-0415 いなべ市北勢町東貝野 454 番地

三重県埋蔵文化財センター 調査研究4課 いなべ整理所
担当者：勝山孝文、松永達也

電話番号：0594-72-8955 FAX：0594-72-8970

e-mail：maibun@pref.mie.jp